

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1964
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.57, No.11 (1964. 11)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19641101-0089

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

次号目次

論 説

日本資本主義の再生産構造分析試論……………井村喜代子
——昭和三五年「産業連関表」を 北原 勇
手がかりとして(i)——
転形問題の帰結……………持丸悦朗
——労働価値説の理論的意義——

研究ノート

十八世紀フランスにおける開墾と干拓……………渡辺國廣
学界展望

世界貿易の進路……………大山道広

——国際経済学会第三回全国大会・覚書——

書 評

P・H・J・H・ゴスデン著
『一八一五年から一八七五年までの
イギリスにおける共済組合』……………飯田 鼎

新刊紹介

前号目次

論 説

社会事業の概念……………青沼吉松
——小島栄次教授の業績を顧みて——
第一インターナショナルと民族問題(一)……………飯田 鼎
——マルクス主義とポーランドの解放——

国内物価と輸出価格の変動……………川島楊子

資 料

企業成長と市場構造……………原 豊

書 評

ケール「ベルタン——重農学派の大臣——」……………渡辺國廣
ロイ・ハロッド編
『発展途上にある世界における国際貿易理論』……………深海博明

新刊紹介

編 集 後 記

秋ともなれば、自然の移り変りを身近かに感じるのは、私一人であらうか。秋は、自然界における、来る年毎に繰り返される流動の状態である。人が自己の生活をしみじみとみつめるのは、まさに、夏から冬への「流れ」の季節においてであらう。昔から、多くの人々が、詩に、歌に、そして文章に、秋があたえる感動を書きつづってきたのは、当然のことであった。

流動的な過程は、力の均衡が崩れるときに生ずる。このことは、自然界は勿論、すべての現実にあてはまる形式的な真実である。いま、世相は、矢張り早やに起る事件のなかに、力の均衡を崩し、流動的な状態へと変わりつつある。フルンチョフ・ソ連首相の解任、英国労働党の勝利、中共の核実験などと、ここ数年間、世の動きは、流動状態のなかで、新しい均衡をもとめて右往左往するにちがいない。

秋が自己の生活をしみじみとみつめる季節であるように、流動する世相は、自己をかえりみる機会である。そこに、ささやかな生活の平和を願う自分を見出す。そして形式的に把握される明日の世界で、実は私達の小さな生活が、その実体をかたちづくっていることに気づく。そこで、現在の流動状態において、やがて確立される力の均衡が、この小さな人間の願いを実現する方向にむかうように祈らざるをえない。社会現象を研究する者に、社会をかたちづくっている・この実体の尊さを切実に感じさせてくれるのも、今は秋であるからかもしれない。(松浦)

昭和三十九年十一月一日発行

◎ 三田学会雑誌 第五十七巻 第十一号

定価 一二〇円(送料別)

編集兼 東京都港区芝三田二丁目二番地
発行人 慶應義塾経済学会

代表者 遊 部 久 蔵
電話三田(453)二二一一
振替口座番号 東京四四〇五六

印刷者 東京都港区芝三田豊岡町八番地
図書印刷株式会社
安 倍 七 郎

半カ年予約購読料(送料共) 七二〇円
一カ年 " " 一四四〇円
御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

発売所 東京都高輪局区内三田綱町一番地
慶 應 通 信
振替口座番号 東京一五五四九七